

Taxonomic review of the scorpionfish genus Scorpaena (Teleostei: Scorpaenidae) in the Indo-Pacific Ocean

著者	WIBOWO Kunto
ファイル(説明)	博士論文全文 博士論文要旨(English) 博士論文要旨(日本語) 最終試験結果の要旨 論文審査の要旨
別言語のタイトル	インド・太平洋におけるフサカサゴ属魚類の分類学的研究
学位授与番号	17701甲連研第998号
URL	http://hdl.handle.net/10232/00031790

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	クント ウィボウォ
題 目	インド・太平洋におけるフサカサゴ属魚類の分類学的研究 (Taxonomic review of the scorpionfish genus <i>Scorpaena</i> (Teleostei: Scorpaenidae) in the Indo-Pacific Ocean)
<p>インド・太平洋産フサカサゴ属魚類の分類学的研究において、マダラフサカサゴ属 <i>Sebastapistes</i> Gill 1877 とよく似る本属の再定義を行った。両属はこれまで後頭部の形態（フサカサゴ属では後頭部に凹みをもつものに対して、マダラフサカサゴ属では平坦）のみで識別されたと考えられていた。しかし、フサカサゴ属では全種で後頭部に凹みをもつものの、この形質はマダラフサカサゴ属の <i>Sebastapistes ballieui</i> Sauvage 1875 とハチジョウフサカサゴ <i>Sebastapistes mauritiana</i> (Cuvier 1829)にもみられる。この2種は本研究において、マダラフサカサゴ属に正しく帰属されることが確認され、本属とフサカサゴ属に含まれる全種の比較から、両属は後頭部の形態と眼下棘の本数の組み合わせによりそれぞれ識別できることが明らかになった。</p> <p>本研究では4新種 (<i>Scorpaena longaecrista</i>, <i>Scorpaena regina</i>, <i>Scorpaena sororreginae</i>, および <i>Scorpaena vesperalis</i>; いずれも本研究中で記載されたオーストラリア産の小型種) を含めた21有効種をフサカサゴ属魚類に認めた。原記載以降、報告がなかった <i>Scorpaena dabryi</i> Sauvage 1878 は、タイプ標本と多くの一般標本の調査に基づき、東アジアに生息するコクチフサカサゴ <i>Scorpaena miostoma</i> Günther 1877 の新参異名であることが明らかになった。 <i>Scorpaena fimbriata</i> Döderlein 1884, <i>Scorpaena izensis</i> Jordan and Starks 1904, <i>Scorpaena hemilopidota</i> Fowler 1938, および <i>Scorpaenopsella armata</i> Fowler 1938 の4名義種は、これまでイヅカサゴ <i>Scorpaena neglecta</i> Temminck and Schlegel 1843 の亜種 (<i>Scorpaena fimbriata</i> の扱いにおいて) または有効種 (残りの3名義種) と扱われてきたが、タイプ標本と分布域広域から得られた多数の追加標本の調査から、上記の4名義種は全てインド・西太平洋に生息するイヅカサゴ <i>Scorpaena neglecta</i> の新参異名であることが明らかになった。 <i>Scorpaena pele</i> Eschmeyer and Randall 1975 は、原記載以降これまでハワイ固有種と考えられていたが、インド・太平洋の広域に生息するフサカサゴ <i>Scorpaena onaria</i> Jordan and Snyder 1900 の新参異名であることが確認された。 <i>Scorpaena cruenta</i> Solander 1842, <i>Scorpaena ergastulorum</i> Richardson 1842a, および <i>Scorpaena militaris</i> Richardson 1842 は、 <i>Scorpaena papillosa</i> (Schneider and Forster 1801) の新参異名とみなされ、 <i>S. papillosa</i> に対してネオタイプを指定した。また、 <i>S. papillosa</i> にはそれぞれ異所的に分布する <i>S. papillosa papillosa</i> (ニュージーランド) と <i>S. papillosa ergastulorum</i> (<i>S. militaris</i> の古参異名, オーストラリア) の2亜種が認められた。 <i>Scorpaena plebeia</i> Solander 1842 と <i>Scorpaena cookii</i> Günther 1874 は、ニュージーランドに生息する <i>Scorpaena cardinalis</i> Solander and Richardson 1842 の新参異名であることが確認され、 <i>Scorpaena natalensis</i> Regan 1906 はインド洋に生息する <i>Scorpaena scrofa</i> Linnaeus 1758 の新参異名であることが明らかになった。</p> <p>これまで情報が不足していた <i>Scorpaena barbata</i> Bonnaparte 1788, <i>Scorpaena spinosa</i> Gmelin 1789, <i>Scorpaena gronovii</i> Walbaum 1792, および <i>Scorpaena asperella</i> Bennet 1828 の4名義種は不適格名とみなされた。これまで分類学的位置が不確実であった8名義種の内、 <i>Scorpaena aplodactylus</i> Bleeker 1852, <i>Scorpaena peruana</i> Hildebrand 1946, および <i>Scorpaena lineagula</i> Fowler 1955 の3種はマダラフサカサゴ属 <i>Sebastapistes</i> に帰属され、 <i>Scorpaena polyprion</i> Bleeker 1849, <i>Scorpaena zanzibarensis</i> Playfair 1867, <i>Scorpaena dentate</i> Günther 1874, <i>Scorpaena bleekeri</i> Day 1878, および <i>Scorpaena voelzkowi</i> Jatzow and Lenz 1898 の5種はネッタフサカサゴ属 <i>Parascorpaena</i> に帰属された。</p> <p>インド・太平洋産フサカサゴ属各種の識別的特徴、異名関係、分布域、調査標本のリスト (これまでで出版済みのものはその引用)、および検索表を示した。</p>	